

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1132	(H.24)No.	1132
-----------	------	-----------	------

事務事業名		ふるさと学習充実事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
教育委員会事務局		学校教育室		和南義一	63-7882
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～平成	年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	2	義務教育
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	465801
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	ふるさと学習充実事業	
項	教育総務費	(小事業名)	
目	教育振興費	ふるさと学習充実事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>「わたしたちの名張市」は、昭和36年の発行以来、社会科副読本として小学校3・4年生の地域教材の中核を担っている。平成23年度には新学習指導要領のもと新しい教科書が使用され、社会科副読本「わたしたちの名張市」も平成22年度23年度の2年間の改訂検討期間を経て、平成24年4月から第5次副読本「わたしたちの名張市」を使用している。以降は、2年ごとに増刷をし、次回(10年後)の学習指導要領改訂の折には、社会科副読本改訂委員会を立ち上げ、学習指導要領を反映させた内容の改訂を行う予定である。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>小学校3・4年生の社会科の副読本として「わたしたちの名張市」を作成し、教科学習の中で活用することで、郷土の自然や文化、歴史に親しみ、郷土を愛する子どもを育む。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ()		
	改訂委員会(全体会3回・総務企画会1回・部会のべ6回)を行い、改訂作業を進めた。		市内小学校3・4年生に社会科副読本を配付し活用を図る。		平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	平成27年度(計画)
	平成24・25年度使用の社会科副読本の印刷を行った。(450円×2500部)1,125,000円		市内小学校3・4年生に社会科副読本を配付し活用を図る。		平成26年・27年度使用の社会科副読本の印刷(増刷)を行い、市内小学校4年生に配付し、活用を図る。	市内小学校4年生に社会科副読本を配付し活用を図る。	平成28年・29年度使用の社会科副読本の印刷(増刷)を行い、市内小学校4年生に配付し、活用を図る。
直接事業費	(0千円)	1,125千円	0千円	1,500千円	0千円	1,500千円	
財源内訳 (千円)	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他()						
一般財源	(0)	1,125	0	1,500	0	1,500	
人工数	職員	0.04人	0.01人	0.04人	0.01人	0.04人	
	臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	
概算人件費	(0千円)	309千円	90千円	309千円	90千円	309千円	
+ 総事業費	(0千円)	1,434千円	90千円	1,809千円	90千円	1,809千円	

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	社会科副読本印刷冊数	-	1,700	-	2,500	-
	実績		-	1,700	-	2,500	-
成果指標	目標	小中学校の教育環境に満足している市民の割合	-	-	-	-	62.0
	実績		59.2	57.5	59.6	60.6	
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
改訂委員会にて、取材を行い新しい教材の発掘と、資料や記述の改訂を行うことができた。	今後10年間、大幅な改訂は行わないが、資料や記述が現状とあっているかについては毎年点検を行い、必要があれば修正を行う。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
今回の改訂の後、全面改訂は約10年後の学習指導要領改訂時になるが、それまでの間は、資料や記載事項の正確さについて毎年検討しながら、部分改訂(修正)も視野に入れて取り組む必要がある。	

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	改訂委員会で取材完了した後の、編集や校正作業の効率化について検討したい。

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項